

**オープンプラン2年生 算数**  
**「くり下がりのあるひき算の筆算」**  
**～5から6はひけない！どうする？～**

2年生の5月は「2桁ー2桁」の筆算の学習を行います。例えば、「75ー66」です。一の位の5から6はひけません。子ども達は「あれ？5から6はひけないじゃん！できない！」と言っていました。そこで、ブロックを用いて考えました。

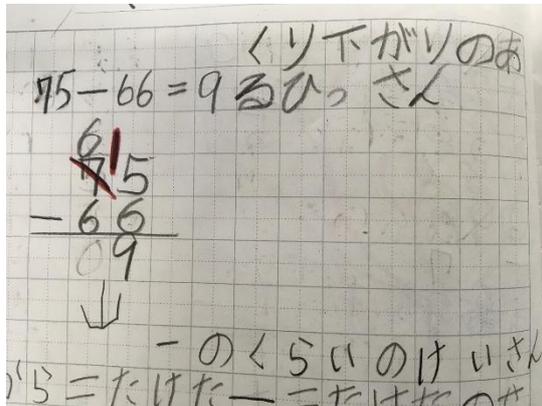


すると……。 「わかった！！」 という声がたくさん聞こえてきました！

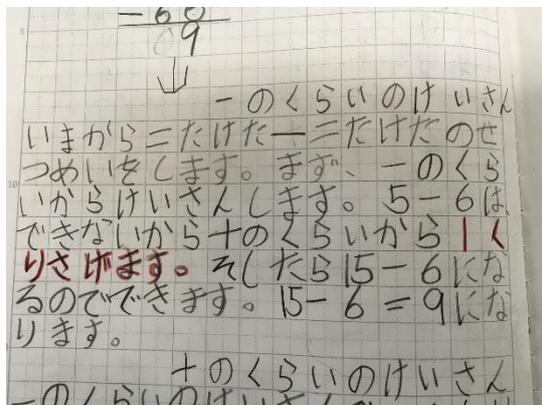
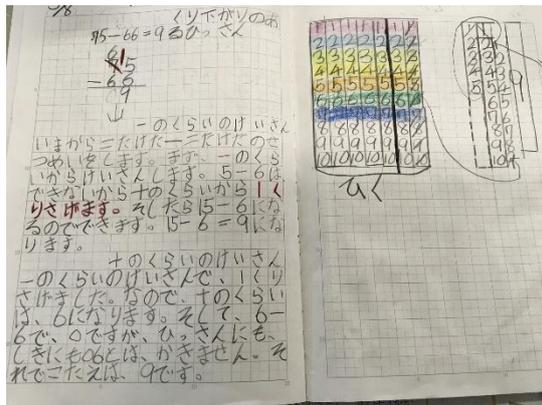


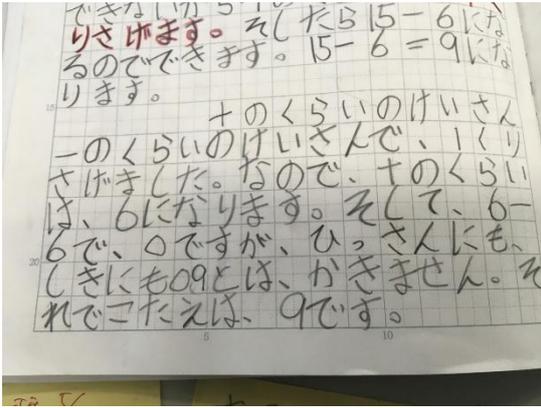
「一の位からひけなかったら、十の位からひけばいいんだ！」初めはできないと思っていた計算が、わかったときの子どもの表情は、パッと明るくなり、とても嬉しそうです。

ブロックで計算の仕方をつかんだら、筆算の書き方を教えます。ここで子ども達のブロック操作で考えたことと、筆算を結びつけます。



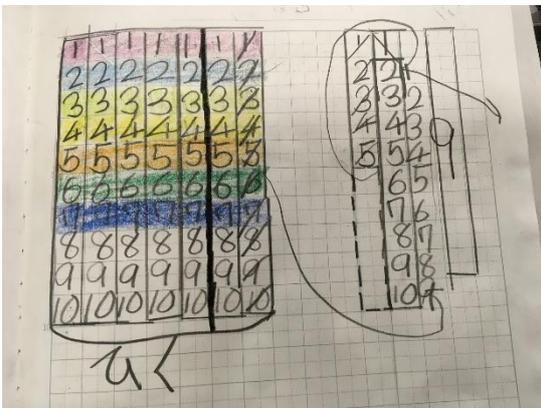
さらに、ブロックで考えたこと、筆算の仕方の説明を自分の力でノートに書きました。





説明を書く。書いている途中でわからなくなってきたら、またブロックの所へ行って考える。

子ども達が自分のペースで操作し、考え、理解していく。子ども達には受け身にならず、自分で知識を獲得するような姿勢を身につけてほしい。そう願いながら日々の授業を考え、行っています。



筆算を形式的に行うだけであれば、それほど難しいことはありません。本校では、筆算ができるだけでなく、一人ひとりがその仕組みをきちんと理解することを大切にしています。自分の力で、本当の理解をするためには、自分の手で物を動かして考えることが必要です。



まずは、ブロックで考える。ブロックを使ってわかった人は、机に戻って、筆算と